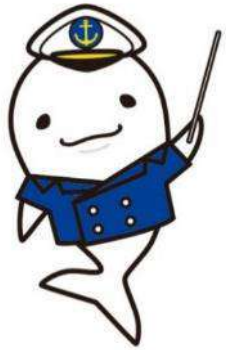
Kitakyushu Action!
動かせ、未来。北九州市

北九州港・北九州空港の近況について

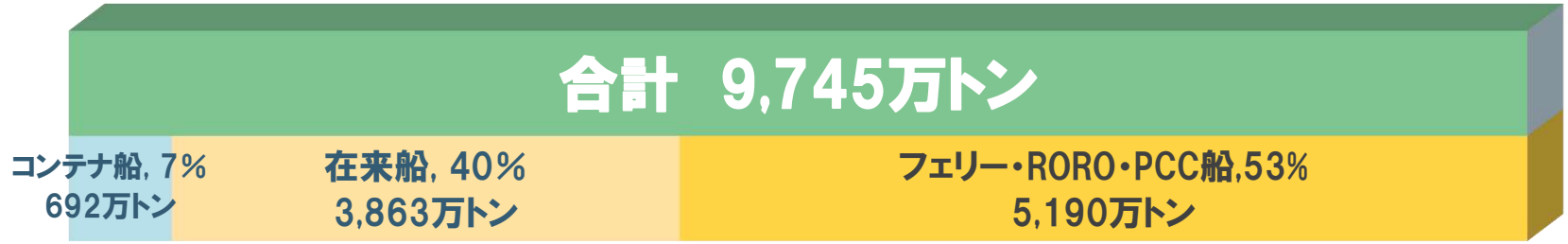


北九州市港湾空港局

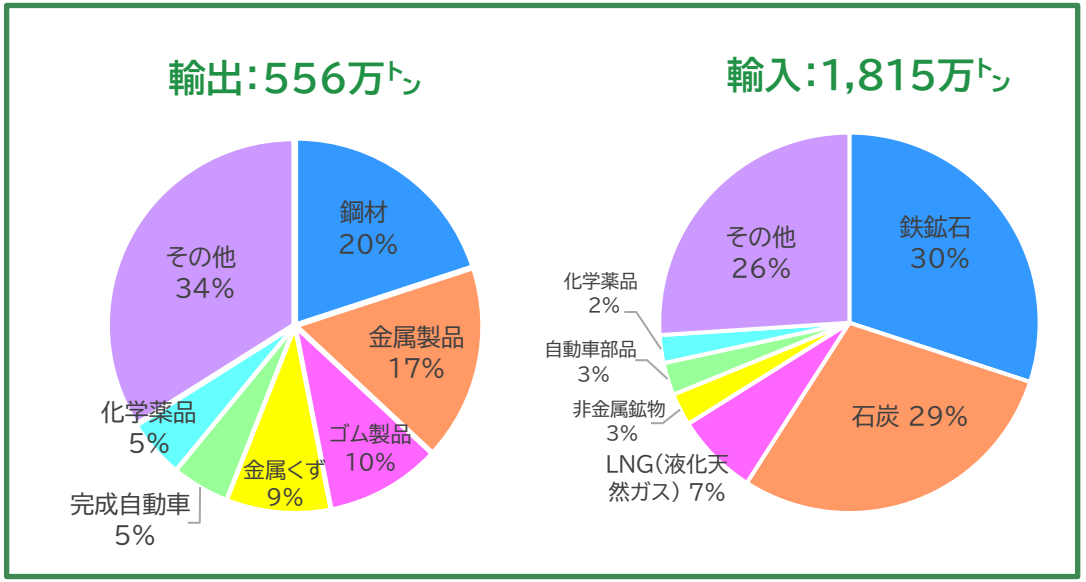
北九州港の物流動向 【海上出入貨物】

令和７年は9,745万トン 全国第５位の取扱実績

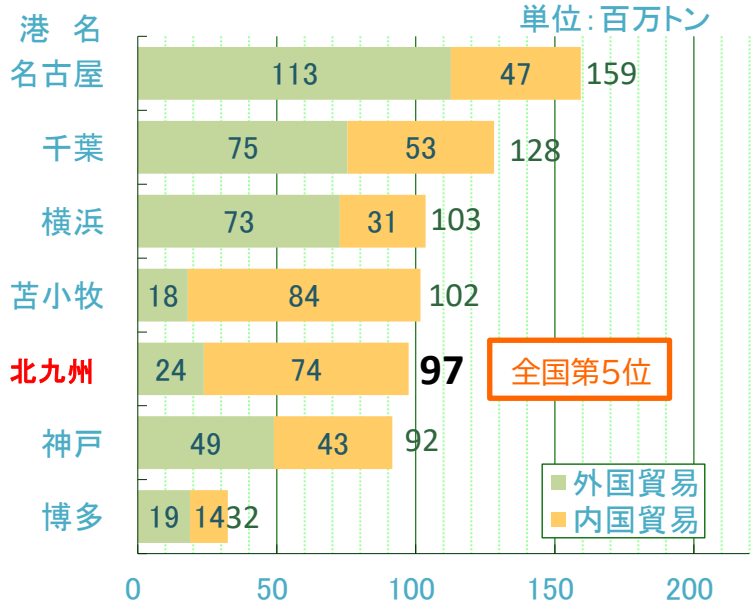
輸送手段別貨物量の割合



品種別海上出入貨物(外国貿易)



日本の主要港の貨物量

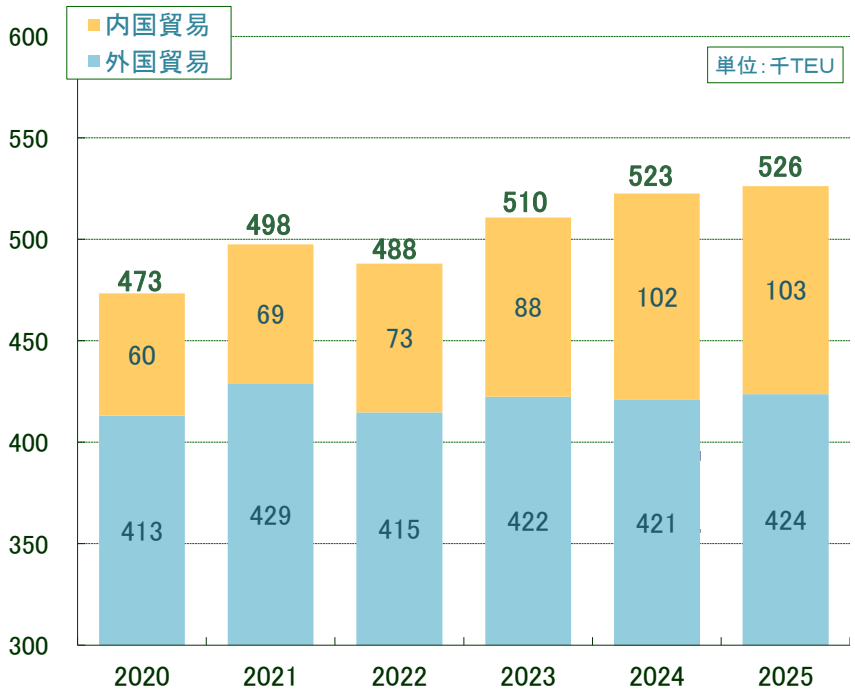


北九州港の物流動向 【コンテナ貨物】

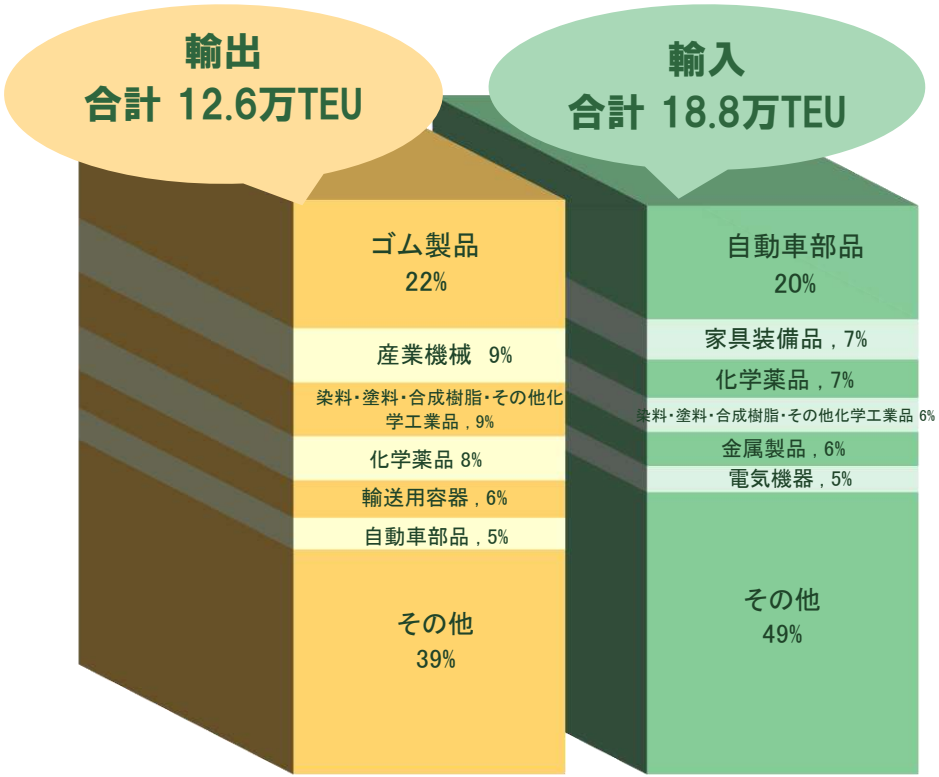
令和７年 コンテナ貨物量（実績）52.6万TEU

（太刀浦CT：44.7万TEU
ひびきCT：　7.9万TEU）

コンテナ貨物量

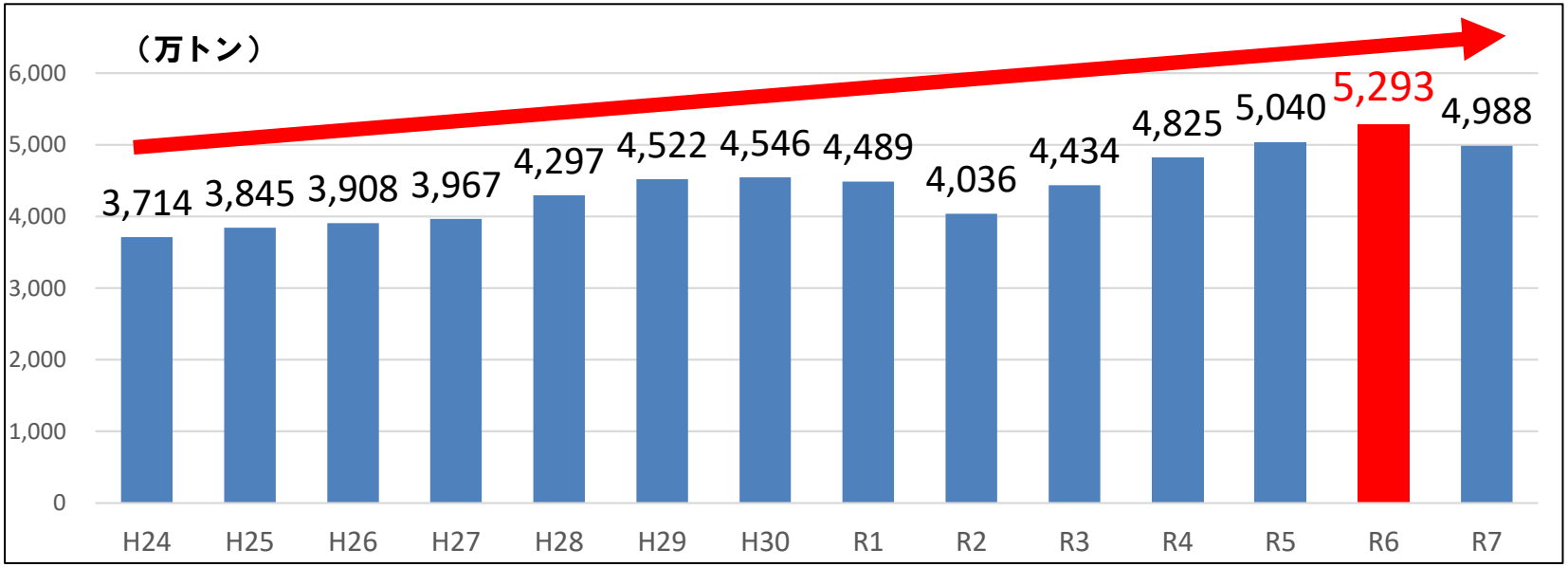


品種別外貿コンテナ貨物（実入りのみ）



北九州港の物流動向 【フェリー貨物】

令和７年の貨物量は4,988万トン（全国２位）




名門大洋フェリー
「きたきゅうしゅうⅡ」


平成27年～令和４年で大型化　輸送力25%強化

オーシャントランス
「フェリーびざん」


阪九フェリー
「ひびき」


令和３年７月就航

東京九州フェリー
「はまゆう」

航路情報 【アジアをシームレスに結ぶ航路網】



航路情報 【充実した国内海上ネットワーク】

国内フェリー

阪九フェリー	新門司 ⇔	神戸・泉大津
名門大洋フェリー	新門司 ⇔	大阪南港
オーシャントランス	新門司 ⇔	徳島 ⇔ 東京
東京九州フェリー	新門司 ⇔	横須賀

国内RORO

フジトランス／トヨフジ海運	新門司 ⇔	名古屋
マルエーフェリー／南西海運	ひびき ⇔	沖縄

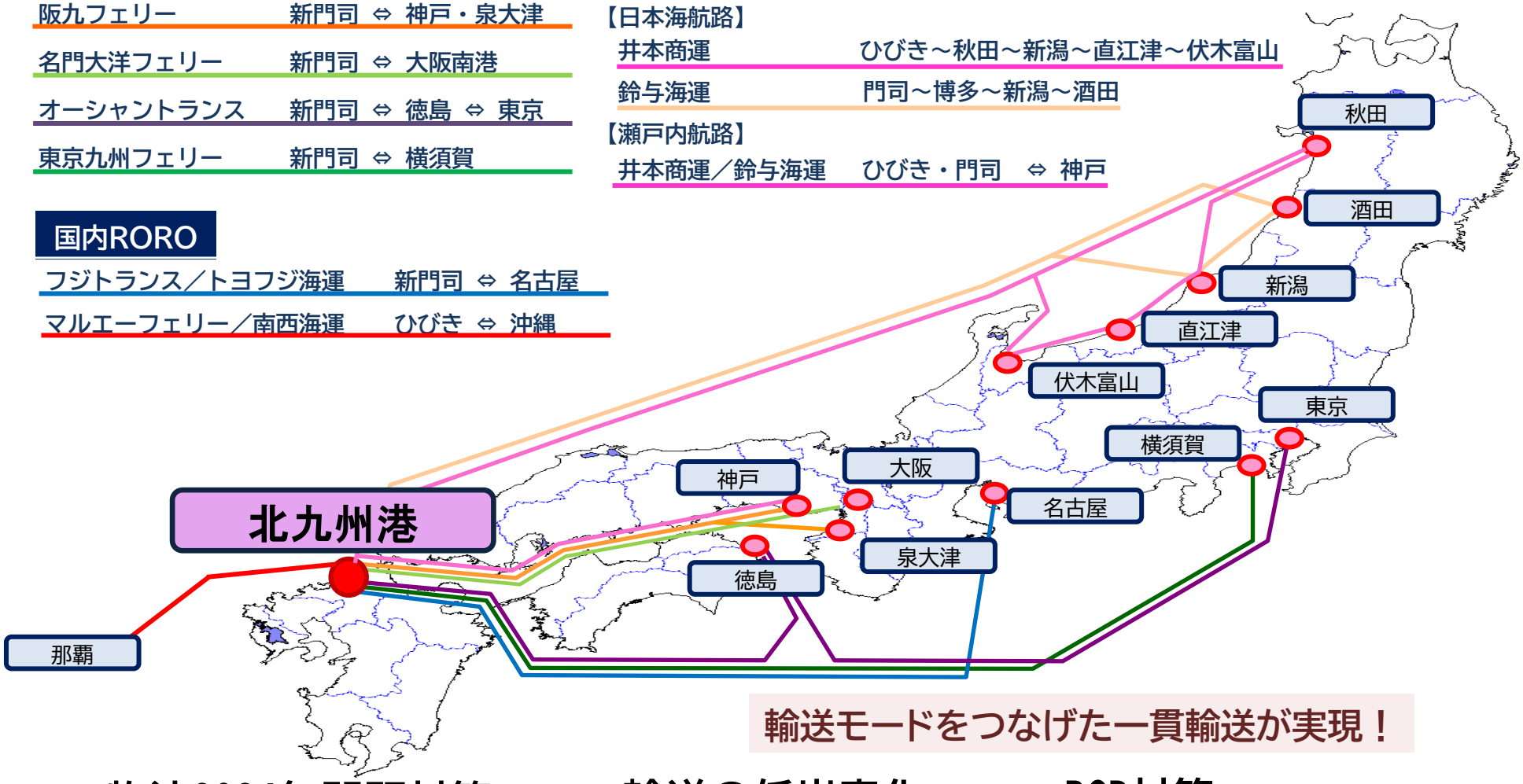
国際フィーダー

【日本海航路】

井本商運	ひびき～秋田～新潟～直江津～伏木富山
鈴与海運	門司～博多～新潟～酒田

【瀬戸内航路】

井本商運／鈴与海運	ひびき・門司	⇔ 神戸



輸送モードをつなげた一貫輸送が実現！

物流2024年問題対策　**輸送の低炭素化**　**BCP対策**（雪・大雨等）

北九州港の物流動向 【フィリピン航路の開設】

◇フィリピンからの輸入貨物を全国4拠点(港)に集約し国内各港に輸送
◇ひびきコンテナターミナルからは九州各地、瀬戸内海沿岸、日本海沿岸各港へ

より広域的な物流拠点に発展！

新 規

フィリピン航路
Maersk
(マニラ～ひびき)





日本海航路(既存)
井本商運
(ひびき～秋田～新潟～直江津～伏木富山)

九州航路
井本商運
(ひびき～九州・瀬戸内海沿岸)

新 規

港湾計画改訂で位置付けた計画の事業化に向けた取組み

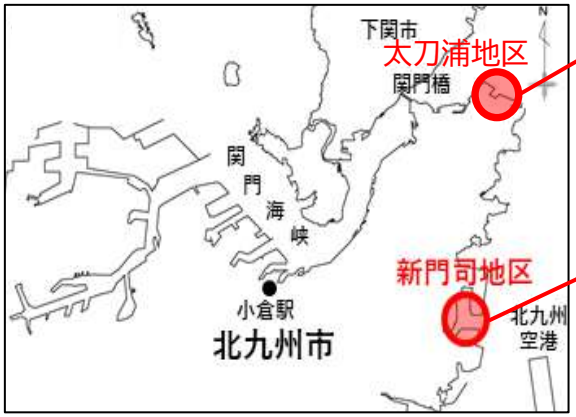
○令和５年12月に改訂した北九州港港湾計画のうち、早期に対応すべき個別計画について、優先順位を設定しながら、事業化に向けた取組みを進めている。
○北九州港東部海域における、浚渫土砂処分場の早期確保及び埋立後の土地を活用した太刀浦コンテナターミナルの効率化を図るための、太刀浦泊地の埋立。
○2024年問題、モーダルシフトの更なる推進、複数の船会社からの航路開設の意向等に対応し、物流拠点機能を強化するための、新門司地区における新規RORO船ターミナルの整備。

【港湾計画改訂の流れ】

◇北九州港長期構想　令和4年12月策定
→北九州港の概ね20～30年後の将来の姿やそれを実現するための施策の方向性

◇港湾計画改訂　令和5年12月
（目標年次：2030年代後半）
→港湾の開発、利用及び保全に関するマスタープラン
取扱貨物量　12,080 万t目標（9,745 万t【令和7年確定値】）

【位置図】



【太刀浦地区】太刀浦泊地の埋立



【新門司地区】新規RORO船ターミナルの整備



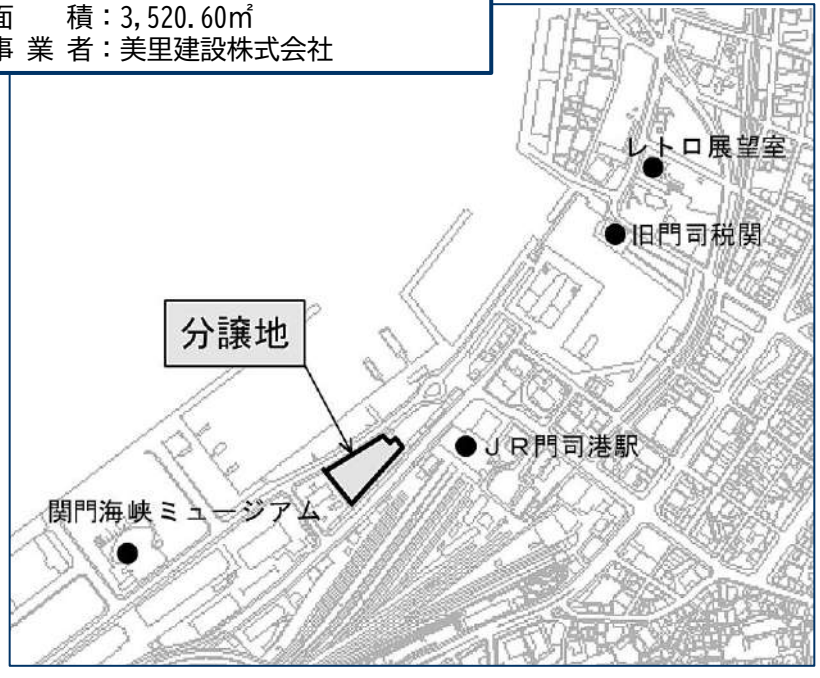


RORO船とは･･･
トレーラーが直接、船に乗り込み、荷台部分のみを積み込むことができる船のことである。

門司港レトロ地区臨海部開発事業 ～ホテル開発～ 8

○ 門司港レトロ地区臨海部開発事業では、同地区の更なる賑わい創出と魅力向上を目的として、令和４年に市有地を民間企業に売却し、宿泊機能を有する集客施設の開発が行われている。
○ 令和７年１２月、星野リゾートは、当該集客施設に福岡県初進出となる「BEB5 門司港 by 星野リゾート」が入ることを発表。地域の特色を活かした飲食店などが並ぶ商業施設「AMAZING SPOT」と共に、令和８年７月２４日に開業。

所 在 地：門司区西海岸一丁目２９番６
面　　積：3,520.60㎡
事 業 者：美里建設株式会社



◇事業スケジュール

令和３年（2021年）９月
　優先交渉権者決定（開発事業者公募）
令和４年（2022年）１月
　市有財産(土地)売買契約締結
令和６年（2024年）１月
　現地工事着工
令和８年（2026年）７月２４日
　ホテル、商業施設「AMAZING SPOT」開業

ホテル、商業施設「AMAZING SPOT」　全景



みなと緑地PPPを活用した取組み

○ 北九州市では、北九州港の重要な産業拠点である響灘東地区において、飲食店空白地帯を解消し、地域の労働環境改善と魅力向上を図るため、九州初となる「みなと緑地ＰＰＰ」を活用した飲食店事業者の公募を実施し、優先交渉権者を決定した。
○ うどんや定食などを提供する「HIBIKI食堂」のほか、公衆トイレやトラックプールも併設する。令和９年４月の開業を予定。



所 在 地：若松区響町一丁目の一部、二丁目の一部
面　　積：13,766㎡
事 業 者：株式会社ビートルエンジニアリング



イメージパース提供：㈱ビートルエンジニアリング

◇事業スケジュール

令和７年（2025年）10月
　公募開始
令和８年（2026年）１月
　優先交渉権者決定
令和８年（2026年）５月
　港湾環境整備計画の認定
令和９年（2027年）４月
　飲食店開業（予定）

◇提案内容

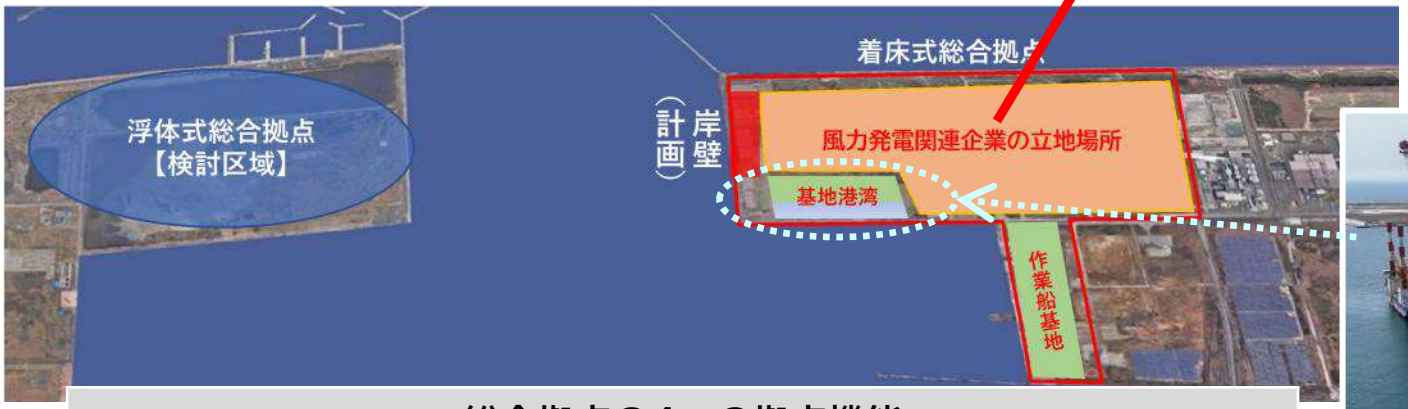
○ HIBIKI食堂
　・うどん・定食などを提供
　・営業時間　平日の11時～15時
　・事業期間　30年
○ トラックプール
　・大型トラック16台駐車可能
○ 公衆トイレ
　・快適に休憩できる環境を提供

「風力発電関連産業の総合拠点」の形成



国内最大級
年間発電量
約5億kWh
一般家庭
17万世帯分







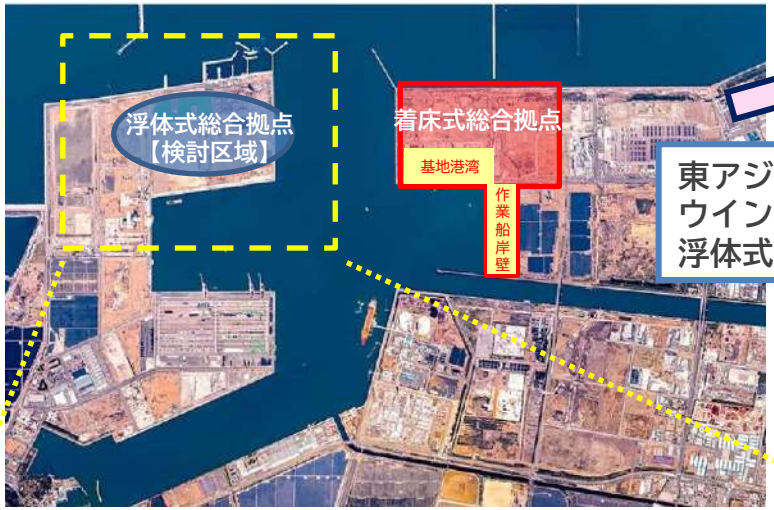
総合拠点の4つの拠点機能

積出・建設拠点	物流拠点	製造産業拠点	O&M拠点

浮体式総合拠点の形成に向けた展開

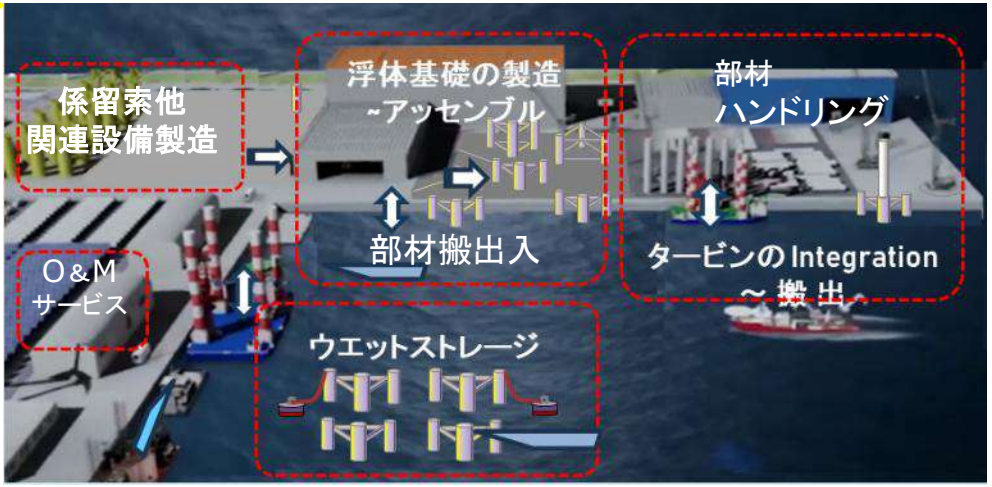
《浮体式に対応した総合拠点》

浮体式基礎など部材に係る供給拠点



東アジア・日本全国の
ウインドファームに向け
浮体式基礎等を供給

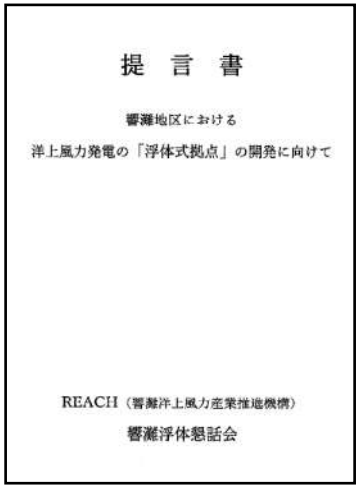




《「浮体式拠点」の開発に向けた提言書》

【令和７年8月20日　北九州市長に手交】

・提言者：響灘洋上風力産業推進機構（Reach）響灘浮体懇話会
山縣 宣彦 座長（港湾空港総合技術センター理事長）他、有識者6名


提　言　書

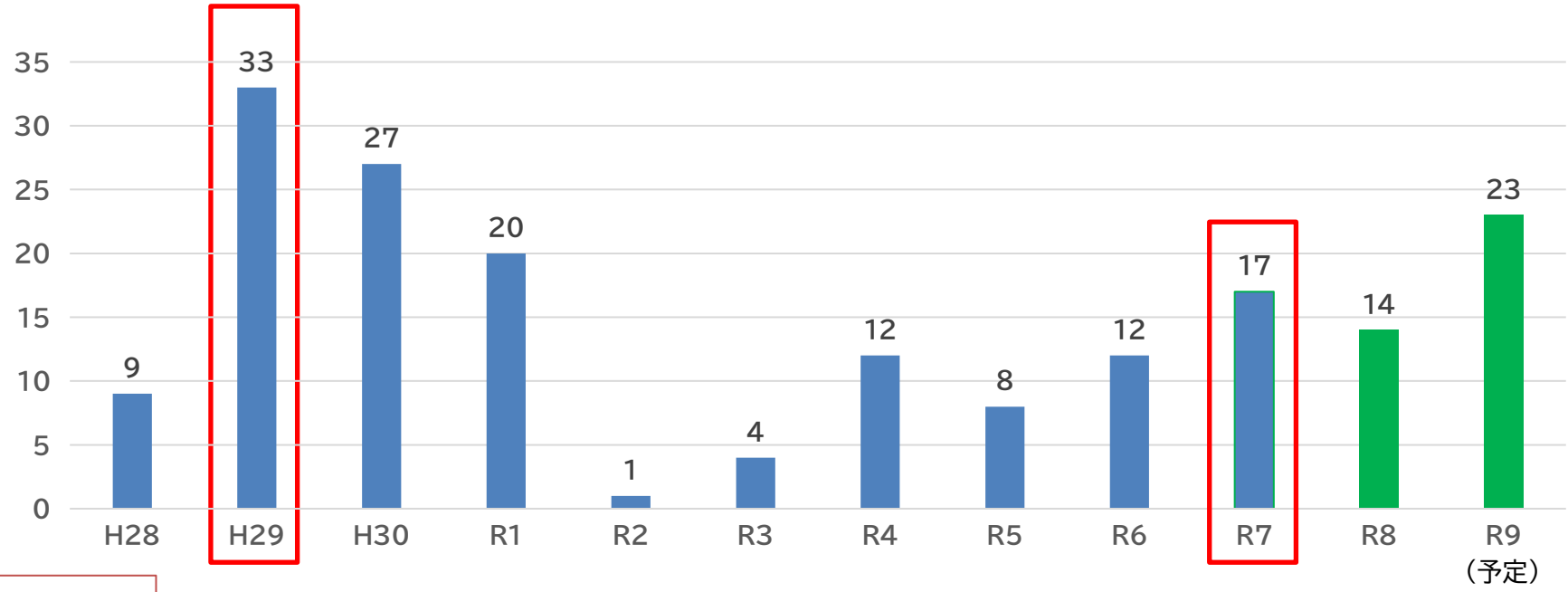
響灘地区における
洋上風力発電の「浮体式拠点」の開発に向けて

REACH（響灘洋上風力産業推進機構）
響灘浮体懇話会



クルーズ船の誘致

【北九州港のクルーズ船寄港実績】



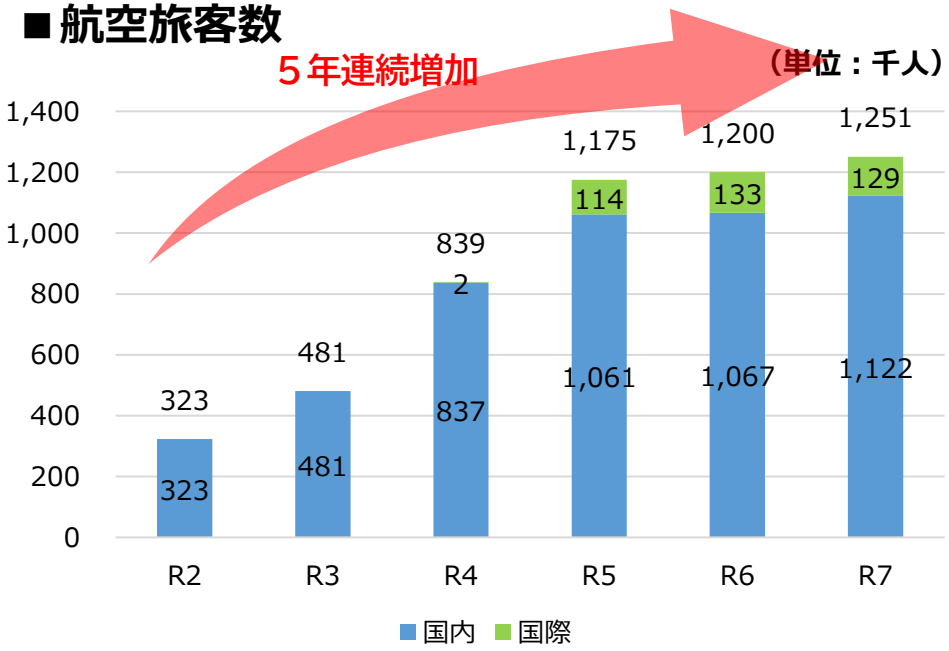
トピックス

〇平成28年　ひびきＣＴで大型クルーズ船の受入を開始
〇平成29年　過去最多の33回の寄港実績
〇平成31年　クイーン・メリー２が国内唯一の寄港地として寄港
〇令和2年　コロナ禍から邦船（国内クルーズ）が再開
〇令和5年　外国船（外航クルーズ）が再開
〇令和7年　飛鳥Ⅲが門司西海岸に初寄港（就航以降九州初寄港）



北九州空港の現状

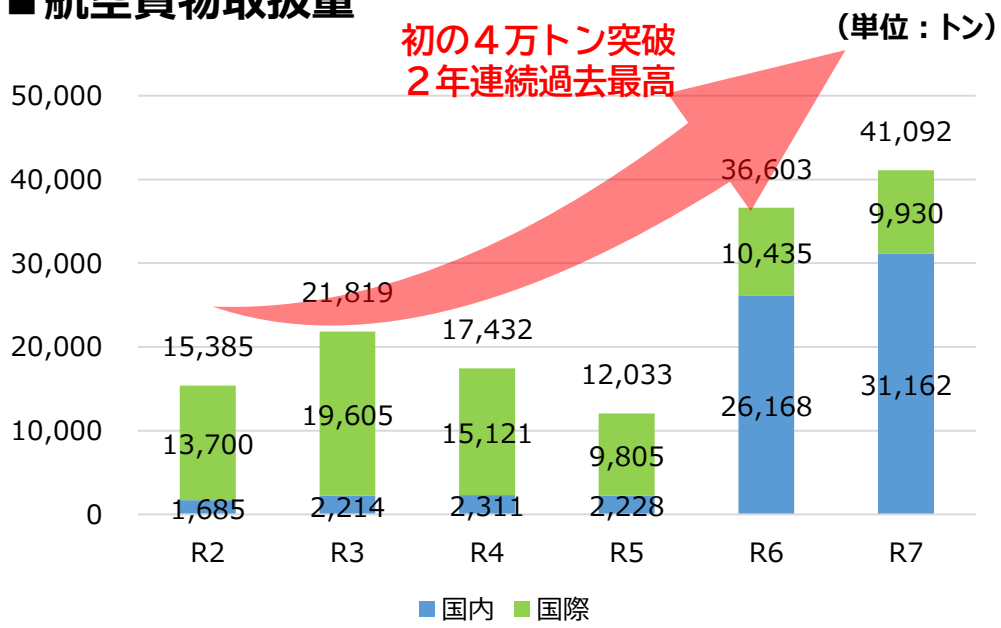
■航空旅客数



種別		路線	航空会社	運航便数（R8.11.1時点）
旅客	国内線	東京(羽田)	日本航空	3往復/日
			スターフライヤー	11往復/日 ※一部曜日運航
	国際線	ソウル(仁川)【韓国】	ジンエアー	1往復/日
		清州【韓国】	エアロK	7往復/週
		台北(桃園)【台湾】	スターフライヤー	3往復/日 ※R8.9.2運航再開

※チャーター便・プログラムチャーター便の状況
・札幌（新千歳）線連続チャーター便　8月31日～9月1日の間で、4往復
・台湾・台中線のプログラムチャーター便　9月1日～10月23日　週3往復

■航空貨物取扱量



種別		路線	航空会社	運航便数（R8.11.1時点）
貨物	国内線	東京(羽田/成田)、新千歳	ヤマトグループ JALグループ	4往復8便/日
	国際線	仁川【韓国】	大韓航空	2便/週 ※年1-2回 臨時便も運航
		深圳(関空経由)【中国】	UPS	5便/週

北九州空港 【滑走路延長＋エプロン拡張】

【滑走路延長】

・事業期間：令和５年度～９年度（令和９年８月末供用開始予定）
・事業効果：3,000m化により、大型貨物機の北米・欧州長距離運航が可能

【エプロン拡張】

・事業期間：令和７年度～９年度
・事業効果：さらなる物流拠点化の進展が期待できる

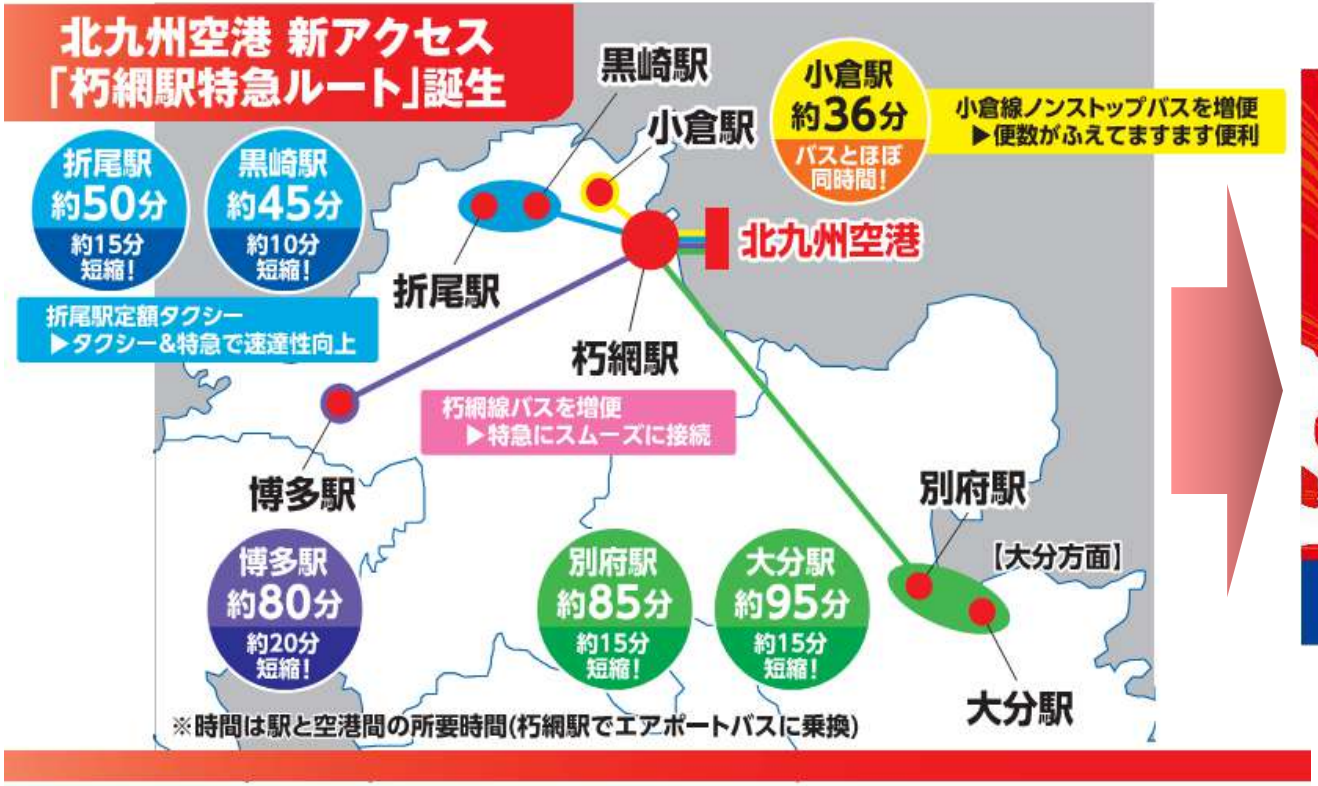


北九州空港【アクセス強化の取組み】

北九州空港の新アクセス「朽網駅特急ルート」が誕生！
空港開港以来の悲願であった朽網駅特急停車がついに実現！（令和7年4月1日より）

- **空港最寄り駅である朽網駅に上下合わせて10本の特急が停車。**
- 特急停車に合わせてエアポートバス朽網線を増便　（27→40往復）
- エアポートバス小倉線のノンストップ便の増便　（17→21往復）
- 折尾駅・黒崎駅を中心に半径5km圏内で利用者負担500円の定額タクシーのサービスを実施中。

⇒令和8年3月14日から、特急停車本数が1日16本に増便！！





Kitakyushu Action!

動かせ、未来。北九州市

ご清聴頂きまして
ありがとうございました